

デイケア通信 虫工

希望会 卓球大会報告

去る6月29日(金)中村スポーツセンター第一競技場で、希望会の卓球大会がありました。フリージアからは男子2名、女子2名が選手として出場し、応援9名とスタッフ3名が同行しました。移動手段は病院のマイクロバスで、昼食はあらかじめ好きな弁当を注文しました(因みに私は和風弁当でした)。私は選手に選ばれたこともあり、フリージアのプログラムで週2回の割合で練習に励んできました。そしていよいよ当日を迎えました。



会場に着くと他の病院や作業所の人達が来ていました。早くも選手達は卓球台で練習をしていました。応援の人達も熱心にその様子を眺めていて、とてもやる気が感じられました。トーナメント表には100名ぐらいの名前が書いてあり、勝ち上がっていくのはとても難しいと思いました。開会式と練習を終えると、いよいよ試合となりました。私の対戦相手は年配の方でした。目標は「初戦突破」だったのでぜひ勝ちたいと思い勝負に挑みました。試合が始まると、お互い点を取ったり取られたりのシーソーゲームでした。何とか第一セットを取る事が出来ましたが続く第二セットは奪われました。そして勝負はいよいよ第三セット、私は少々力んでしまい、サーブ、スマッシュなどが精度を欠きました。その為、いい所で惜しくも負けてしまいました。普段の自分だったら勝てた試合だけにとっても悔しかったです。

結局Nさんのベスト8以外、Oくん、Aさん共に一回戦負けとなりました。このような残念な結果に終わった卓球大会ではありましたが、皆で食べたお弁当はとても美味しく楽しい思い出になりました。また、機会があればぜひ参加したいと思いました。今度は「カツ」弁当で。

盆踊り大会報告



今年も朝から晴れわたり絶好のお祭り日和でした。みんなの日頃の行ないがよく、また連日のスタッフの準備のおかげで無事に盆踊り大会が始まりました。

入院患者さんをはじめ職員や一般来場者など多くの方が参加されました。「炭坑節」や「ふれあい音頭」などを皆で踊り、また順番に太鼓を叩いたり、休憩時には地域の踊りの団体「でらおおぶ」の方が若さいっぱい踊って大会を盛り上げてくれました。前半終了後に焼きソバやおにぎり、アイスクリームを食べ満喫しました。僕は

踊りすぎてお腹ペコペコだったのでとても美味しく感じました。そして大会の最後の閉会式では、「印象に残ったで賞」の賞状を頂きました。

盆踊り大会は楽しくて面白かったので来年も是非参加して今度は「優秀賞」を狙います！！

名古屋港水族館に行ってきました！

9月21日金曜日、晴天の中、メンバー20人弱と担当のスタッフで4班に分かれて向かいました。

前日まで水族館実行委員の入念な話し合いによってスムーズに当日出発することができました。全班、遅刻者も欠席者もなく順調に出発し JR や地下鉄を乗り継いで名古屋港まで向かいました。道中は日差しも強く暑かったです。予定より早く水族館に着き、障害者手帳を見せて全買無料で入場しました（付き添い者も無料）。

11時になると北館のメインプールでイルカのパフォーマンスが始まりました。どの班も見に来ていて、水しぶきがかからないギリギリの6列目で見ている班もありました。幼稚園や小学生の団体も来ていて、収容人数3,000人のスタンドが7割ほど満ちていました。イルカが飼育係りの言うことを聞いてダイナミックに躍動感あふれるパフォーマンスをしており、ショーに惹きつかれてとても感動しました。

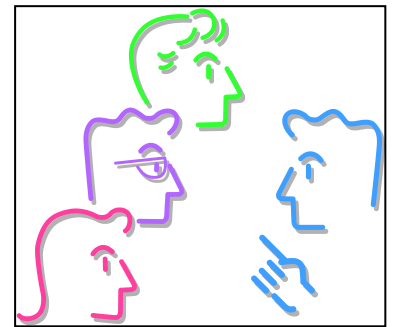
イルカのパフォーマンスが終わったら各班ばらばらに行動しました。私たちの班は12時10分からシャチのトレーニングを見学しました。それからフードコートで昼食して、残りの余った時間で南館のイワシやペンギンなど見学しました。帰りの時間がせまっていた水族館をじっくり見ることができなかつたのが名残惜しいですが、とても楽しかったです。また機会があればいきたいです。実行委員のお陰でスムーズに行動できてありがとうございました。お疲れさまでした。



活動紹介 ～和の会～

第1、第3金曜日のフリージアミーティング終了後にみんなで輪になり榎本名譽院長を迎えて「和の会」を開催しています。「和の会」とは、メンバーの普段思っていることや素朴な疑問を出し合い、そして悩みや困り事などを話し合っただけでなく、「和の会」で話題になった事を紹介します。

◎月×日（金）、話題『出産を考えていますが体調を崩す事を不安に思っている』という相談がありました。それに対して「子供がいなくても夫婦楽しく



過ごしている家庭もあるので考え方は本人次第だと思う」、「薬を飲んでる環境の中で結婚・出産は色々な人の話、主治医・夫と相談しどう支援を得られるか考えると良いのでは」等の意見が出ました。

△月☆日（金）、話題『どうしたら薬を減らしてもらえますか』という相談がありました。それに対して、「生活が安定して症状が落ち着けば薬は減らすことは可能ではないか」、「多くの人は通院しながら少しずつ薬を変え診察期間を短くしているようです」という意見が挙がりました。さらには「体調が良くなったと思っても薬は減らさない方がよいか」という相談があつて、色々な意見が出ました。

「和の会」ではなかなか話しにくいことを聞いてもらえて悩みを具体的に出来るので助かっています。そして榎本先生はいつもやさしい言葉を掛けて下さるので心が和みます。これからも「和の会」を続けて欲しいと思いました。

編集後記

次回の記事も乞うご期待(N・Y)。水族館楽しかったです、また行きたいです(J・W)。楽しかったです(M・M)。Kさんの調子が良くなりますように(D・Y)。次回も頑張りたいです(K・M)。皆のお陰でできました(J・N)。

〒474-0071 大府市梶田町2-123 E-mail : dc@kyowa.or.jp

共和病院デイケアセンター フリージア 虹グループ